

夢創造

▶二十七日（水）の小学部の児童総会で、各委員会からの取組の成果について報告がありました。



平成31年3月1日（金）no.33 文責：上田

地域の支援に感謝

今年も地域の方々にご協力いただき、うぶやま学等で地域をテーマにした地域探検、稲作、ヘルパー活動、職場体験などのさまざまな学習を行ってきました。雪井コーディネーターはもちろん、多くの地域の皆さんにお世話になりました。

26日（火）には3年生が南部公民館を訪ね、ゲストティチャーの甲斐政徳さんに昔の道具について話をうかがいました。私も甲斐さんにいろいろと質問でき、たいへん有意義な学習ができました。

ところで、右の生活用具は何だかお分かりになりますか？回転するところは今も同じですが、当時は球体だったんですね。（正解は本紙の最後の行にあります）



「夢の給食」産山の幸を堪能

26・27日（火・水）に、恒例の「夢の給食」（給食）が実施されました。ご存じのように焼きたてのあか牛ステーキが給食で食べられるとあって、子どもたちはこの日を楽しみにしていました。お肉に添えられたにんじんやチンゲンサイ、煮汁のゴボウやシイタケなども産山産の食材で、満面の笑みでまさに“うぶやま”を味わっていました。

給食前の「食に関する講話」では、佐藤孝司さんに給食でも提供されているブラウンスイス牛の牛乳についてのお話をうかがいました。全国に2000頭ほどで、熊本でも数頭、そのうち産山では4頭しか搾乳されていないブラウンスイス牛の食味のよい牛乳を毎日飲んでいるということにも驚かされました。感謝したいと思います。

「夢の給食」の様子は、26日夕方のテレビ数局で放送されました。子どもたちのいきいきとした表情がおいしさを物語っていました。

